

トラック側には ブレーキ痕なし

北海道5人死亡

北海道八雲町の国道で18日昼、乗客15人が乗った都市間高速バスに對向のトラックが衝突し、双方の運転手2人とバスの乗客3人の計5人が死亡した事故で、現場の路面にトラックのブレーキ痕が残っていないことが道警への取材でわかった。道警はトラックが減速せずにバスに衝突したとみている。

直前にトラックが對向車線にはみ出し、バスの運転席付近に直撃したとみている。道警が19日に路面の状況を確認したところ、トラックのコース上にブレーキ痕がなかった。一方、バス側の車線にはバスが急ブレーキをかけた痕が残っていたという。道警は20日、死亡したトラックの梶谷誠運転手(65)の死因は外傷性ショックと発表。梶谷運転手が運転操作を誤った可能性があるとみて調べている。(新谷千布美)

トラック運転手宅 搜索

北海道事故 死因は外傷性ショック

北海道八雲町の国道で、対車線に突っ込んだとみられるトラックが都市間高速バスに衝突し、5人が死亡した事故で、事故現場にトラックのブレーキ痕がなかったことが20日、北海道警への取材で分かった。道警は、トラックが既に勤務先の養豚会社もスピードを出したまま反

張性気胸」と判明している。同社によると、トラックの梶谷運転手は長年配達業務に従事。事故当日は午前6時半ごろから勤務し、車両点検も行っていったという。原則8時間勤務で、吉原洋明社長は19日の報道対応で、直近3カ月の状況を調べたが、長時間や過重労働には当たらないと説明していた。

トラック 減速せず衝突か

北海道5人死亡 ブレーキ痕なし

北海道八雲町の国道で長距離バスとトラックが衝突して5人が死亡、12人が負傷した事故で、トラック側の車線にブレーキ痕はなく、トラックが減速せず對向車線へはみ出したとみられることが道警への取材でわかった。道警は20日、死亡したトラックの梶谷誠運転手(65)(北海道森町)の自宅を自動車運転死傷行為

この中で車体の一部に強い力が集中する「オフセット衝突」とみられる。バスは運転席がある右前部から右側面にかけて激しく損傷し、死亡した乗客3人は運転手のすぐ後ろの右前方に座っていた。事故は18日正午頃、国道5号で発生した。道警によると、死因はバス運転手の札幌市清田区、興膳孝幸さん(64)と乗客の鹿部町本別、パート従業員高清水忍さん(57)が胸を強く打ったことによる緊張性気胸、函館市旭町、同市職員若崎友哉さん(33)と札幌市清田区、高橋裕美さん(55)が出血性ショックだった。梶谷運転手は司法解剖の結果、全身を強く打ったことによる外傷性ショックだった。